

使用。			
補欠取締役投票点数		横切継紙・1通	993-55-2
(封筒) 牟礼郡小川弥右衛門→江部村山田熊太郎様 993-56-1は封筒入り。封筒表に「金九円貳拾三銭在中」とあり。	5月31日	封筒・1通	993-56
(書状、謝金受取り、残金返上に付) 小川弥右衛門→山田熊五郎様閣下	5月31日	横切紙・1通	993-56-1
(封筒) 小川昌夫→山田熊太郎様 993-57-1は封筒入り。	5月31日	封筒・1通	993-57
(書状、結納その他相談に付) 小川昌夫→山田□□	5月31日	横切紙・1通	993-57-1
(封筒) 高井郡役所→〔江〕部郡山田荘左衛門殿 993-58-1～2は封筒入り。封筒表に朱印で「公用」とあり。	18年4月25日	封筒・1通	993-58
(書状、東洋絵会創立に付) 993-1～2は紐綴じ。下高井郡役所の朱罫紙使用。		朱罫紙・1通	993-58-1
記(入会金など) 下高井郡役所観賞掛(印)→下高井郡役所の朱罫紙使用。		朱罫紙・1通	993-2
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→江部村山田荘左衛門様 993-59-1は封筒入り。		封筒・1通	993-59
(書状、至急本店へ使をして罷り出のこと) 中野支店(印)→山田荘左衛門様	8月7日	切継紙・1通	993-59-1
(封筒) 高井郡木島村外八ヶ村戸長役場→江部村山田熊太郎殿		封筒・1通	993-60
(書状、部内吉村佐藤孫左衛門財産公買に付、役場へ代金上納のこと) 高井郡木島村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田熊太郎殿		朱罫紙・1通	993-60-1
(封筒) 中野町西川方綿田□造(印)→江部村山田御本宅 993-61-1は封筒入り。	明治19年1月19日	封筒・1通	993-61
(書状、煩いに付怠りなく服用のこと) 西川方綿田□造(印)→江部村山田様	1月19日	横切継紙・1通	993-61-1
(封筒) 駒澤貞永→山田庄左衛門様 封筒表に「証書案在中」とあり。		封筒・1通	993-62
(包紙) 山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊五郎様 993-63-1は包紙入り。裏に「長野・町御役所ニテ」とあり。	4日	横切紙・1通	993-63
(書状、下谷中徒士町今泉丘之に諸事件始審の代言人頼みに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様	未8月4日	横切紙・2通	993-63-1
(書状、時候の挨拶) 山田理兵衛(印)→山田熊五郎様	6月5日	青罫紙・1通	993-64
(封筒) 大徳寺→江部村山田庄左衛門様 993-65-1は封筒入り。			993-65
(書状、大徳寺屋根の萱不足に付) 大徳寺→山田当主殿	6月14日	朱罫紙・2通	993-65-1
換舌(只今電報披見)に付) 相馬敬白→山田当主様	7月11日	横切紙・1通	993-66
(封筒) 本多政実→下高井郡江部村山田熊太郎殿 993-67-1は封筒入り。	明治19年3月1日	封筒・1通	993-67
(書状、時候の挨拶) 本多政実→熊太郎殿・利兵衛殿	2月28日		993-67-1
(書状、新井村取立地租税その他上納方依頼に付) 木島村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田庄左衛門殿			993-68
(封筒) 往郷村泉龍寺渡辺俊龍→江部村山田理兵衛様 993-69-1は封筒入り。	8月6日	封筒・1通	993-69

書状入袋

(書状、預け置きし弟子ご恩に付、礼文) 渡辺俊龍 (印)→山田理平様 緑色の切紙使用。	明治14年8月6日	横切紙・1通	993-69-1
(封筒) 平川村外四ヶ村戸長役場二而小川弥右衛門(印)→ 江部村山田熊五郎様閣下 993-70-1は封筒入り。	10月15日	封筒・1通	993-70
(書状、老翁様お祝いに付) 弥右衛門→山田熊太郎様	10月12日	横切紙・1通	993-70-1
(封筒) 畏三堂書房須原鉄二(印)→長野県下高井郡江部村 山田莊右衛門 993-71-1は封筒入り。「要至急事」の文言あり。 封筒裏に切手あり。	明治18年8月22日	封筒・1通	993-71
(書状、賃銀先払いにて返送に付) 須原鉄二(印)→山田 大旦那		横切紙・1通	993-71-1
(封筒) 青木→山田熊太郎様 993-72-1は封筒入り。封筒裏 に「山田温泉客会ニテ」とあり。		封筒・1通	993-72
(書状、時候の挨拶) 青木→山田様	10月6日	横切紙・1通	993-72-1
(封筒) 〔吉〕田熊太郎様→牟礼小川昌夫 993-73-1は封筒入 り。	9月20日		993-73
(書状、松三郎兄よりの為替を使者に相渡すことなど 願) 昌夫→熊太郎□□	9月20日	横切紙・1通	993-73-1
(封筒) 牟礼酒屋→山田御本宅様 993-74-1は封筒入り。	10月8日	封筒・1通	993-74
(書状、両替金先に治め入れ置き候に付) 下部分欠 損。	8日	横切紙・1通	993-74-1
(書状、めもり代金正に請取、先方へ相渡しに付) 田 中作次(印)→御旦那様	9月12日	横切紙・1通	993-75
(封筒) 御□村元方→〔欠損〕江部村山田本宅様御中 993- 76-1は封筒入り。	明治18年9月14日	封筒・1通	993-76
(書状、芝居興行に付招待状) →山田様		切紙・1通	993-76-1
(封筒) 柏原村中村六左衛門→〔江〕部村山田莊左衛門様 993-77-1は封筒入り。		封筒・1通	993-77
(書状、時候の挨拶) 中村六左衛門家内→山田莊左衛門 様	18年8月28日	横切紙・1通	993-77-1
(封筒) 村越茂助→山田熊太郎様 993-78-1は封筒入り。	9月13日	封筒・1通	993-78
(書状、返金に付) 村越茂助→江部村山田熊太郎様	9月13日	横切紙・1通	993-78-1
(封筒) 長野吉空果明→山田理兵衛様 993-79-1は封筒入 り。		封筒・1通	993-79
(書状、本月分金罷り越しに付) 吉松果明→山田理兵衛 様	8月20日	青罫紙・1通	993-79-1
(書状、代言人を東京徒士町の今泉某にお頼みに付) 山田理兵衛→山田熊五郎様 「金証書委皆御返済被下度」と の端書あり。		青罫紙・1通	993-80
(書状、金銭受領書雛形) 山田理兵衛→江部郡山田熊太 郎	9月15日	横紙・1通・(青 罫紙使用)	993-81
(封筒) 小川弥左衛門→江部郡山田熊太郎	7月18日	封筒・1通・993-82- 1、2封筒入	993-82
(書状、急ぎ紛レ伺洩候裁縫女子の一件)		横紙・1通	993-82-1
(書状、横浜株式取引二付) 小川弥左衛門→江部郡山田 熊太郎	7月18日	横紙・1通	993-82-2

(封筒) 東京浅草8番丁 篠田佐資→信州江部郡山田熊太郎		封筒・1通・993-83-1封筒入	993-83
(書状) →山田熊太郎	7月7日	横継紙・1通・(朱罫紙使用)	993-83-1
(書状、病僧看護二付依頼状ヲ一通願度申候二付) →山田庄左右衛門		横継紙・1通・(朱罫紙使用)	993-84
(書状、おふくろサマ病節二付)	12月9日	横切紙・1通	993-85
(封筒) 同 浦次郎→山田熊太郎	7月3日	横継紙・1通	993-86
(書状)	7月3日	1通	993-86-1
(書状、時候の挨拶) 下田半高→江部郡山田熊太郎	11月6日	横継紙・1通	993-87
(封筒) 三ツ和村小村平八→江部村山田庄左衛門	18年10月26日	封筒・1通	993-88
(書状、帰国の義二付礼文) 東京大伝馬塩町上屋敷平助殿方ニテ三ツ和村小林平八→江部村山田	10月26日	横継紙・1通	993-88-1
(書状、荒井村江代納もの依頼二付) 木島村外八ヶ村戸長役場→江部村山田		横継紙・1通・(損傷あり、取扱注意)	993-89
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→江部村山田熊太郎		封筒・1通	993-90
(書状、国内御購入ノ新宅へ近々御引渡二付) 小川弥右衛門→山田熊太郎	11月26日	横切紙・1通	993-90-1
(書状、山田理兵衛→江部郡山田熊太郎)	7月16日	横継紙・1通	993-91
(封筒) 惣兵衛→下高井郡江部村山田	11月20日	封筒・1通・(車夫□次第托ス)	993-92
(書状、芝居に付) 長野□関惣兵衛→山田旦那	11月20日	横切紙・1通	993-92-1
(封筒) 長野窪賀町→山田庄左衛門	18年12月18日	封筒・1通	993-93
	12月18日	横継紙・1通	993-93-1
(封筒) 間山村小林永太郎→江部郡山田熊太郎 94-1は封筒入り。	12月9日	封筒・1通	993-94
(書状、鈴木長兵衛より買入の地所に付、示談のこと) 小林九之丞・同永太郎→山田熊太郎様	12月9日	横切継紙・1通	993-94-1
(書状、小見組所持の地面開墾に付、中野町近山勝右衛門宅へ印形持参の旨、通知のこと) 穂高村戸長岡田→江部村山田庄左衛門殿	11月22日	朱色罫紙・1通	993-95
(封筒) 小林多吉→江部本宅山田熊太郎様 96-1は封筒入り。	7月20日	封筒・1通	993-96
(書状、金10円の返済と残金返済猶予願に付) 小林多吉→山田様閣下	7月20日	横切紙・1通	993-96-1
(封筒) 小布施市村善輔→江部山田熊太郎様 97-1は封筒入り。		封筒・1通	993-97
(書状、柏原の中村氏へ杜氏の件、ご照会願いなどに付) 市郡善輔→山田賢兄様	8月8日	横切継紙・1通	993-97-1
(封筒) 幡場慎左衛門→江部村山田利兵衛様 98-1は封筒入り。		封筒・1通	993-98
(書状、政府へ申請の金30万円拝借の件、受理に付) 慎左衛門→理兵衛様	8月22日	横切継紙・1通	993-98-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様	2月20日	封筒・1通	993-99

書状入袋

(封筒) 山田浦次郎→山田熊太郎殿 100-1は封筒入り。	7月16日	封筒・1通	993-100
(書状、7月1日の暴風雨と大洪水に付、お見舞いのこと) 浦次郎拜→山田熊太郎殿呈膝下	7月16日	横切継紙・1通	993-100-1
(封筒) 新潟縣下頸城郡高田呉服町村井与平方寄留麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様 101-1は封筒入り。	18年7月20日	封筒・1通	993-101
(書状、米穀高騰と不景気などに付) 麴池省三→山田熊太郎様	7月20日	横切継紙・1通	993-101-1
(封筒) 八幡町信和方山田莊左衛門→信州下高井郡江部郷十五番地山田熊太郎殿 102-1は封筒入り。	7月12日	封筒・1通	993-102
(書状、横濱株式一件に付) 莊左衛門→熊太郎殿・理兵衛殿	7月12日	横切継紙・1通	993-102-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田庄左衛門殿 103-1は封筒入り。		封筒・1通	993-103
(書状、礼服用着の上、郡庁へ出頭旨、通知に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田庄左衛門殿 「安源寺村外八ヶ村戸長役場」の罫紙使用。	明治月18年7月18日	朱色罫紙・1通	993-103-1
(封筒) 山田熊太郎→山田莊左衛門様 104-1は封筒入り。	10月2日	封筒・1通	993-104
(書状、間山・篠田の来訪や降雨の件など、近況報告に付) 熊太郎拜→御尊父様	10月2日	横切紙・1通	993-104-1
(封筒) 駒澤貞永→山田莊左衛門様 993-105-1~2は封筒入り。		封筒・1通	993-105
(書状、組合設立に付) 駒澤貞永→山田莊左衛門様	2月2日	横切紙・1通	993-105-1
(書状、組合設立に付願い書き)		横切紙・1通	993-105-2
(書状、金円借用証書受取に付) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 調印の上送付するよう端裏書あり。	6月3日	横切継紙・1通	993-106
(封筒) 竹條井村外六ヶ村戸長役場→江部村山田利兵衛殿 993-107-1は封筒入り。	明治18年6月1日	封筒・1通	993-107
(書状、捺印無之に付、今般却下二相成候) 竹條井村外六ヶ村戸長役場(印)→江部村山田利兵衛殿	明治18年6月1日	朱罫紙・1通	993-107-1
(封筒) 小池善之助→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-106-1は封筒入り。封筒表に「要用」、裏に「夫辰五郎持参」とあり。	12月28日	封筒・1通	993-108
(書状、兼ての御恩借を返納に付) 小池善之助→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-108-1
(書状、呼吸病全癒次第参上に付) 駒澤貞永→山田莊左衛門様	8月28日	横切紙・1通	993-109
(封筒) 吉奎集輯→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-110-1は封筒入り。	2月19日	封筒・1通	993-110
(書状、金捨五両受取に付) 吉奎集輯→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-110-1
(封筒) 佐藤享平→江部村山田熊太郎様 998-111-1は封筒入り。	12月20日	封筒・1通	993-111
(書状、金欠調達しかねに付、日延のこと願) 佐藤享平→山田熊太郎様閣下	12月20日	横切継紙・1通	993-111-1
(封筒) 中野町奈良定助→下高井郡江部村山田庄左衛門 998-112-1は封筒入り。切手あり。封筒に「急件」とあり。	12月16日	封筒・1通	993-112

(書状、拝借金壹円返納に付) 奈良定助(印)→山田莊左衛門様	12月15日	横切継紙・1通	993-112-1
(書状、東京仮居に付) 中口明宜→下高井郡江部村山田熊太郎様	1月5日	朱罫紙・1通	993-113
(書状、東京表にて相調べ、持参に付) 青木→山田様	12月4日	横切継紙・1通	993-114
口換(代言届委任状相届に付) 小林小太郎→山田様	6月20日	横切継紙・1通	993-115
(書状、証文のこと) 山田御本宅サマ→山田理兵衛	4月9日	横切継紙・1通	993-116
(封筒) 高野村村越茂助→山田兵衛殿「依頼書」とあり。	10月12日	封筒・1通	993-117
(封筒) 麴池(破損)→山田熊太郎様 993-118-1は封筒入り。	2月7日	封筒・1通	993-118
(書状、神奈川様お調べに付) 麴池省三→山田熊太郎	2月7日	横切継紙・1通	993-118-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 993-119-1は封筒入り。封筒に「急用」とあり。	4月20日	封筒・1通	993-119
(書状、拝借金百円に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	4月20日	横切紙・1通	993-119-1
(封筒) 永龍寺→高井郡江部村山田熊太郎様 993-120-1は封筒入り。	1月11日	封筒・1通	993-120
(書状、病人のこと) →山田様	1月11日	横切継紙・1通	993-120-1
(書状、牟礼きくや縁談の一件の儀などに付お伺いのこと) 熊太郎→山田父上様御案下 993-121-1~123は折疊一括	5月28日	横切継紙・1通	993-121-1
追徴証書(不足分金3銭追納に付) 長の電信分局主務秋里竜男→山田松三郎	明治19年1月	切紙・1通	993-121-2
追徴証書(追徴証書第三号記載の事由に付金3銭正に受領のこと) 長の電信分局主務秋里竜男(印)→山田松三郎	明治18年1月8日	切紙・1通	993-121-3
(封筒) 従名古屋同(山田)浦次郎→信州下高井郡江部村山田熊太郎殿親展 993-122-1は封筒入	4月5日	封筒・1通	993-122
(書状、養家ご厄介の儀萬謝に付など近況報告) 浦次郎拜→山田兄上様呈膝下	4月5日	横切継紙・1通	993-122-1
(封筒) 江部山田熊太郎→飯山讚小路本多政用殿方山田理兵衛様 封筒開披不可	12月16日	封筒・1通	993-123
(封筒) 従小布施市村善輔→江部山田熊太郎様格下 993-124-1は封筒入		封筒・1通	993-124
(書状、先日願置き候公債証書の儀などに付) 市村善輔拜→山田尊兄閣下	3月31日	横切継紙・1通	993-124-1
(書状、明日常平寺における展観舎の儀に付) 麴池省三(印)→江部山田御本宅様用事	4月30日	横切野紙・1通	993-125
(封筒) 牟礼小川昌夫→江部村山田莊左衛門様乞御中 993-126-1は封筒入	3月29日	封筒・1通	993-126
(書状、御法会の儀などに付金子拝借願のこと) 小川昌夫→山田御伯父上様閣下 経目剥離か	3月29日	横切紙・2通	993-126-1
(封筒) 中野町篠田和二郎→江部村山田熊太郎様侍史 993-127-1は封筒入	4月8日	封筒・1通	993-127
(書状、若月郡衛より証書払下げの節手数料請求書書式の儀に付) 篠田和二郎→山田熊太郎様尊下	4月8日	横切紙・1通	993-127-1
(書状、拝借の金員期限の儀に付) 佐野村古幡佐一郎(印、「古幡」)→江部村山田莊左衛門殿「下高井郡平隠村」	4月7日	朱罫紙・1通	993-128

書状入袋

の罫紙			
(封筒) 中野曾我方ニテ山田理兵衛→御在宅山田熊太郎様御用 993-129-1は封筒入	5月3日	封筒・1通	993-129
(書状、小作一件の儀に付) 山田理兵衛→山田熊太郎	5月3日	横切罫紙・1通	993-129-1
(封筒) 間山村小林九之丞→江部村山田熊太郎様侍史 993-130-1は封筒入	8月7日	封筒・1通	993-130
(書状、御尊父君の儀などに付お伺いのこと) 小林九之丞拜→山田熊太郎様呈机下	8月7日	横切罫紙・1通	993-130-1
(封筒) 飯山山田理兵衛→御在宅山田熊太郎様御用 993-131-1は封筒入、封筒に「利右衛門へ附上」	5月2日	封筒・1通	993-131
(書状、取集金ほか証書などの儀に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	5月2日	横切継紙・1通	993-131-1
(封筒) 同(山田)浦次郎→山田熊太郎殿至急平音 993-132-1は封筒入	11月10日	封筒・1通	993-132
(書状、種々御厄介御懇精の儀萬謝のこと、事故有之に付名古屋に逗留のこと) 浦次郎再拜→山田熊太郎殿呈足下	11月10日	横切継紙・1通	993-132-1
(封筒) 飯山ニテ山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 993-133-1は封筒入、封筒に「吉蔵へ附上」	12月19日	封筒・1通	993-133
(書状、御尊父君の病体異常の御様子に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	12月19日	横切継紙・1通	993-133-1
(封筒) 町田儀平→山田隈太郎様呈御机下 993-134-1は封筒入	2月1日	封筒・1通	993-134
(書状、昨年十二月の御老君御逝去の儀に付、昨年中拝借金に付) 町田儀平→山田隈太郎様机下	2月1日	横切継紙・1通	993-134-1
(封筒) 東京府下浅草区牟右衛門町拾番地井上久左衛門方坂本則敏→長野縣下高井郡江部村拾五番地山田莊左衛門殿、山田理兵衛殿親展 993-135-1~2は封筒一括、年月日は消印より	明治19年2月7日	封筒・1通	993-135
(書状、本日顯善院殿五十日御祭に付) 坂本則敏(花押)→山田莊左衛門殿、山田理兵衛殿各位衆中 「訴訟文通用」罫紙	(明治)19年2月7日	朱罫紙・1通	993-135-1
(副啓、理兵衛君御出京中の儀などに付) 坂本則敏→山田莊左衛門様、山田理兵衛様各位御中 「訴訟文通用」罫紙	(明治)19年2月7日	朱罫紙・1通	993-135-2
(封筒) 間山村仕立屋つい→江部村山田庄左衛門様要用急 993-136-1は封筒入	7月15日	封筒・1通	993-136
(書状、無礼内の儀甚だ延引の儀に付) 仕立屋つい→山田様	7月15日	横切継紙・1通	993-136-1
(封筒) 赤塩村瀧沢覚重郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様大至急用 993-137-1は封筒入	12月3日	封筒・1通	993-137
(書状、本月五日六日両日の内推参仕るとの約定の儀に付延引願のこと) 瀧沢覚重郎→山田庄左衛門様	12月3日	朱罫紙・1通	993-137-1
(封筒) 長野表権堂山本や長五郎→山田庄左衛門様御直披 993-138-1は封筒入		封筒・1通	993-138
(書状、拝借金今月中返済の儀などに付) 山本や長五郎→江部村山田庄左衛門様貴下	(明治)18年11月21日	横切継紙・1通	993-138-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田莊左衛門殿		封筒・1通	993-139

993-139-1~2は封筒一括			
(書状、過般駒澤貞永所有金録公債証書500円買受に係る捺印願の儀売渡人駒澤の印影相違に付) 下高井郡役所→「安源寺村外八ヶ村戸長役場」野紙	明治18年9月14日	朱野紙・1通	993-139-1
(書状、別紙の儀は駒澤貞永改印せしために付その旨届け出ること) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印)→江部村山田荘左衛門殿 「安源寺村外八ヶ村戸長役場」野紙	明治18年9月18日	朱野紙・1通	993-139-2
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎様無事平申	7月4日	封筒・1通	993-140
(書状、引続大雨のため渡船の道一切無之に付、当方流家・土手切流死人など実に目もあてられぬ儀に付)	7月4日	横切継野紙・1通	993-140-1
(封筒) 中野町山田理兵衛→江部村山田熊太郎様貴下 993-141-1は封筒入	7月6日	封筒・1通	993-141
(書状、本日中野へ立寄のこと、六月より利子の件などに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月5日	横切紙・1通	993-141-1
(封筒) (印、「信州上水内郡牟礼駅小川昌夫」)→江部山田熊太郎様親展 993-142-1は封筒入	6月25日	封筒・1通	993-142
(書状、先日御厄介御馳走の儀のお礼のこと、過日頼入の金子の件下僕へ御交付の儀に付) 昌夫(印、「をがは」)→山田賢愛貴下	6月25日	横切継紙・1通	993-142-1
(書状、屋根東南不残西北六ト通り挟了りの儀に付) 大徳寺→東江部山田庄左エ門様	6月24日	縦紙・1通	993-143
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様親展 993-144-1は封筒入	3月2日	封筒・1通	993-144
(書状、小生持病の脚気など併発し公務難儀のため辞表差出の儀などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様足下	3月2日	横切継紙・1通	993-144-1
(封筒) 牟礼駅小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様至急要信 993-145-1は封筒入	2月26日	封筒・1通	993-145
(書状、森氏借入金抵当の件などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	2月26日	横切紙・1通	993-145-1
(書状、入湯致し至極心能に付御案事のことほか) 荘左衛門→山田熊太郎殿返報	24日	横切継紙・1通	993-146
(封筒) 東京浅草区八幡町信兵衛方山田荘左衛門平安→信州下高井郡江部村十五番地山田熊太郎殿親展 封筒のみ	6月29日	封筒・1通	993-147
(封筒) 自東京浅草八幡町信和方山田荘左衛門(印、「山田」)→信州下高井郡江部村十五番地山田熊太郎殿親展 993-148-1は封筒入、封筒一部破損	24日	封筒・1通	993-148
(書状、きくや縁談の儀委曲承知などに付) 荘拜→熊太郎殿、理兵衛殿	6月24日	横切継紙・1通	993-148-1
(封筒) 東京本郷四丁目三十五番地篠田和助→信濃国下高井郡江部村山田庄左衛門様格下平安 993-149-1は封筒入、年月日は消印より	(明治)18年9月11日	封筒・1通	993-149
(書状、先月本郷区本郷四丁目に転居致しなどに付) 篠田和助拜→山田庄左エ門様格下平安 「医療器械舖」野紙	9月10日	青野紙・1通	993-149-1
(封筒) 上田第十九国立銀行阿部弥惣太(印、「上田第十九国立銀行緘」)→下高井郡江部村山田庄左衛門様御直披 993-150-1は封筒入	6月20日	封筒・1通	993-150

書状入袋

(書状、過般依頼申上の御所有公債借用の儀に付) 第十九国立銀行頭取阿部弥惣太(印、「阿部」)→山田庄左衛門様侍史	明治18年6月20日	朱罫紙・1通(2枚)	993-150-1
(封筒) 飯山町本多方ニテ山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様要用 993-151-1は封筒入	4月29日	封筒・1通	993-151
(書状、証書一通正に入手の儀などに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様尊下	4月29日	横切継紙・1通	993-151-1
(封筒) 長野縣上高井郡須坂町駒澤貞永(印、「駒澤貞永」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様至急要用賞酬 993-152-1は封筒入	(明治)18年9月21日	封筒・1通	993-152
(書状、印鑑御入用の趣に付拝承のことなど) 駒澤貞永拜→山田熊太郎様御机下	9月21日	横切紙・1通	993-152-1
(封筒) 間山村仕立屋ついで→東江部村山田庄左衛門様至急回書 993-153-1は封筒入	7月4日	封筒・1通	993-153
(書状、大満水の趣心配のため御見舞に付) 仕立屋黒岩ついで→山田庄左衛門様	7月4日	横切継罫紙・1通	993-153-1
記(金99銭7厘請取に付) 紺屋縫右衛門(印、「小布施上町関谷」)→江部山田様	8月23日	横切継紙・1通	993-154
(封筒) 東京赤坂青山北町四丁目一番地青原寺内発仙秀壯多→信州江部山田庄左衛門様平安用書 993-155-1は封筒入、年月日は消印	(明治)18年11月15日	封筒・1通	993-155
(書状、目下東京においてコレラ病流行のため毎日五六人程づつ死去に付) 仙秀壯多→山田庄左衛門殿	11月15日	青罫紙・1通	993-155-1
(封筒) 山田温泉松本や止宿山田莊左衛門平安→下高井郡江部村第十五番地山田熊太郎殿親展 993-156-1は封筒入	9月21日	封筒・1通	993-156
(書状、持参失念の儀送付依頼に付) 莊拜→熊太郎殿	9月21日	横切継紙・1通	993-156-1
(封筒) 上水内郡西長野町九ばん地吉松某躬(印)→下高井郡江部村山田理兵衛様要用 993-157-1は封筒入	11月27日	封筒・1通	993-157
(書状、本月分15円に付御落手のこと) 某躬拜→理兵衛様几下	11月26日	横切継罫紙・1通	993-157-1
(封筒) 従東京浅草八幡町信和方ニテ山田莊左衛門→信州下高井郡江部村第十五番地山田熊太郎殿平安親展 993-158-1は封筒入、年月日は消印	6月16日	封筒・1通	993-158
(書状、貿易商会一件松三郎関係の儀などに付) 莊拜→熊太郎殿、理兵衛殿貴下	6月16日	横切継紙・1通	993-158-1
(封筒) 新潟県下高田茶街□□與平方止宿麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門要件 993-159-1は封筒入	9月23日	封筒・1通	993-159
(書状、兼ねてよりの売約定の儀先方より金員延滞に付) 麴池省三拜→山田熊太郎様乞机下	9月23日	横切継紙・1通	993-159-1
(封筒) 東京根岸金杉村三百五十番地長井方曾我欽二郎拜→信州下高井郡東江部村山田庄左衛門様	8月5日	封筒・1通	993-160
(書状、帰省中の手厚御配慮の儀多謝などに付) 欽二郎拜→山田莊左衛門様	8月5日	横切継紙・1通	993-160-1
(封筒) 長野表権堂山本屋長五郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様へ 161-1は封筒入り。	11月24日	封筒・1通	993-161
(書状、入費嵩みのため、借金の返済猶予願に付) 山本屋長五郎→山田庄左衛門様	明治18年11月24日	横切継紙・1通	993-161-1

(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 162-1・2は封筒入り。	4月8日	封筒・1通	993-162
(書状、公債証書10枚お預かりの上、神奈川より帰京に付) 麴池省三→山田莊左衛門様	4月8日	横切継紙・1通	993-162-1
(書状、横濱銀貨・織物類の低価に付)		横切紙・1通	993-162-2
(封筒) 東京神田区旭町貳拾六番地小林運重方小林嘉重郎→下高井郡江部村山田莊左衛門様 163-1は封筒入り。	9日	封筒・1通	993-163
(書状、中野表を出立後、伊香保温泉入湯など、近況報告に付) 小林嘉重郎→山田莊左衛門様・山田熊太郎様 紙は紫色。	10月9日	横切継紙・1通	993-163-1
(封筒) 上水内長野栄町北澤久右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様 164-1は封筒入り。	明治18年7月12日	封筒・1通	993-164
(書状、水害の見舞いに赴くべきところ、足痛などのため手紙で近況報告に付) 北澤久右衛門→山田熊太郎様	18年7月12日	横切紙・1通	993-164-1
(封筒) 下水内郡飯山町山田理兵衛→下高井郡江部村山田熊太郎様 165-1は封筒入り。	18年6月30日	封筒・1通	993-165
(書状、本多宇左衛門に対する貸金の件などに付)		横切紙・1通	993-165-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門様 166-1は封筒入り。	5月10日	封筒・1通	993-166
(書状、亡妻の77日法事に付) 小川弥右衛門→山田莊左衛門様	5月10日	横切紙・1通	993-166-1
(封筒) 木村善藏→下高井郡江部山田熊太郎様 167-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	993-167
(封筒) きく→山田御姉上様 167-1-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	993-167-1
(書状、母上様ご病気のため、容態伺いに付) きく→山田御姉上様	1月19日	横切継紙・1通	993-167-1-1
(封筒) 東京浅草八幡町篠田和助→信濃国下高井郡江部村山田莊左衛門様 168-1は封筒入り。		封筒・1通	993-168
(書状、年始の挨拶と借用金の返済猶予願に付) 和助→山田様	1月15日	横切紙・1通	993-168-1
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 169-1・2は封筒入り。	明治18年1月8日	封筒・1通	993-169
(書状、朝鮮事件開戦の風説などに付) 麴池省三→山田御隠居様	1月8日	横切継紙・1通	993-169-1
(書状、年始挨拶に付) 麴池省三→山田莊左衛門様	明治18年1月8日	横切紙・1通	993-169-2
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「麴池」)→長野縣下高井郡江部村山田莊左衛門様 170-1は封筒入り。	3月26日	封筒・1通	993-170
(書状、東京の気候、神奈川様の配慮により度々出港の件などに付) 麴池省三→山田莊左衛門様	3月26日	横切継紙・1通	993-170-1
(封筒) 紺屋町岩崎宿綿貫□造→□□下高井郡江部村山田熊太郎様 171-1は封筒入り。	12月31日	封筒・1通	993-171
(書状、時事新報の記事などに付) □造→秀雲・春斎・春決三兄		横切継紙・1通	993-171-1

書状入袋

(封筒) 奈良定助→下高井郡江部村山田荘左衛門様 172-1は封筒入り。	19年1月24日	封筒・1通	993-172
(書状、返金猶予願に付) 奈良定助(印、「定」)→山田荘左衛門様	19年1月24日	横切継紙・1通	993-172-1
(封筒) 山田理兵衛→山田熊太郎様 173-1は封筒入り。	4月21日	封筒・1通	993-173
(書状、入用のため、小見村徳兵衛などへ証券を引き渡すように願い出に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	4月21日	横切継紙・1通	993-173-1
(封筒) 下高井郡平穩村山本権六郎→下高井郡江部村山田荘左衛門殿下 174-1は封筒入り。	2月18日	封筒・1通	993-174
(書状、借金の返済方猶予願に付) 下高井郡平穩村山本権六郎→同郡江部村山田荘左衛門殿下		横切継紙・1通	993-174-1
(封筒) ボウエキアラカワ→高井郡江部村山田シヨウサエモン方ヤマダ 175-1は封筒入り。	19年1月5日	封筒・1通	993-175
明治年送達紙(イワタの娘出産に付) ボウエキアラカワ→エベムラヤマダシヨウサヘモンカタヤマダ	1月5日	切紙・1通	993-175-1
(封筒) (印、「越後高田町室孝次郎方旧信越鉄道会社事務残務掛」)→長野縣下高井郡江部村山田荘左衛門様 176-1は封筒入り。	明治18年10月25日	封筒・1通	993-176
信越鉄道会社第三総会決議報告(会社解散のため、残務取り扱いに付) 信越鉄道会社残務取扱委員→	明治18年10月	切紙・1通	993-176-1
(封筒) 須坂桐屋栄蔵ニテ東京八丁堀北島町三丁目□□→下高井郡江部村山田荘左衛門様 177-1は封筒入り。	10月29日	封筒・1通	993-177
(書状、須坂町表具屋の西海堂などに付) □□→山田荘左衛門様	10月28日	横切紙・1通	993-177-1
(封筒) 上水内郡鶴賀町表権堂小池質店(印、「上水内郡鶴賀権堂小池質店」)→下高井郡江部村山田熊太郎様 178-1は封筒入り。	明治18年12月22日	封筒・1通	993-178
(書状、公債証書買い集めに付) 小池善之助→山田熊太郎様	12月21日	横切紙・1通	993-178-1
(封筒) 南佐久郡三塚村箕輪日折→信州上水内郡鶴賀村裏権堂小林元辰殿・中村兵左衛門殿	明治18年11月16日	封筒・1通	993-179
(書状、暴臣事件後における周辺村々の情勢聞き込みに付)		横切継紙・1通	993-179-1
(岩村田・南北相木などの地形図に付)		朱色罫紙・1通	993-179-2
(封筒) (印、「長野縣下信濃国長野西之門田丁第十九国立銀行支店」・「第拾九国立銀行長野支店緘」)→下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治18年7月13日	封筒・1通	993-180
(書状、公債証書借用に付) (印、「第拾九国立銀行長野支店」)→山田荘左衛門様	明治18年7月13日	黄緑色罫紙・1通	993-180-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様 181-1は封筒入り。	3月8日	封筒・1通	993-181
(書状、村々戸長の年棒などに付) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	3月8日	横切紙・1通	993-181-1
(封筒) 横濱本町四丁目山田松三郎→信州下高井江部村山田熊太郎様 182-1は封筒入り。	明治18年4月28日	封筒・1通	993-182
(書状、公債証書の依頼返付などに付) 弟松三郎→山田御兄上様	4月27日	横切継紙・1通	993-182-1

(封筒) 山田理兵衛→江部邨山田熊太郎 183-1は封筒入り。		封筒・1通	993-183
(書状、山石や一件取り掛かりに付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	3月1日	横切野紙・1通	993-183-1
(書状、大雨のため、酒蔵など浸水に付) 熊太郎→父上様	7月4日	横切紙・1通	993-184
(書状、篠田と神奈川へ本文の通知願に付)		横切紙・1通	993-184-1
(封筒) 判読不能→信州高井郡江部村山田荘左衛門様方山田松三郎様 書状が封筒内に入っているが、糊付けのため、開封不可。	19年1月4日	封筒・1通	993-185
(封筒) 神奈川青木町七十番地山田松三郎→信州下高井郡江部村山田荘左衛門様 186-1は封筒入り。		封筒・1通	993-186
(書状、御機嫌伺いに付) こう→御母上様	3月25日	横切継紙・1通	993-186-1
(封筒) 下高井郡住郷村渡辺俊龍→江部村山田荘左衛門様 187-1は封筒入り。		封筒・1通	993-187
(書状、花長々厄介のため、兄惣太郎お礼として参上に付) 渡辺俊龍→山田御本宅様	3月3日	横切継紙・1通	993-187-1
(封筒) 高野村吉越善右衛門→高井郡江部村山田荘左衛門様 188-1は封筒入り。	18年3月19日	封筒・1通	993-188
(書状、逃亡者重助の借財返済方法に付、願書) 下高井郡高野村吉越善宇右衛門(印、「吉越」)→下高井郡江部村山田荘左衛門様	明治18年3月19日	朱色野紙・1通	993-188-1
(封筒) 牟礼村小川弥右衛門→江部村山田荘左衛門様 189-1は封筒入り。	18年4月8日	封筒・1通	993-189
(書状、妻くま死去のため、出棺の日時お知らせに付) 小川弥右衛門→山田荘左衛門様	4月8日	横切紙・1通	993-189-1
(封筒) 清野古貌→江部村山田荘左衛門様 190-1は封筒入り。	3月22日	封筒・1通	993-190
(書状、飯倉町五丁目熊谷方へ下宿の旨など報告に付) 清野古貌(印、「清野古貌」)→山田尊聖前	3月22日	横切継野紙・1通	993-190-1
(書状、大徳寺へ1戸あたり縄2把つつ送付の旨、村中へ伝達願に付) 大徳寺→ヒガシ江部山田荘左衛門様	5月30日	横切継紙・1通	993-191
(封筒) 坂本亀之助→山田荘左衛門様 192-1は封筒入り。		封筒・1通	993-192
(書状、法会営みに付) さか本→山田荘左衛門様	3月29日	横切紙・1通	993-192-1
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→山田熊太郎様 193-1は封筒入り。		封筒・1通	993-193
(書状、山田理兵衛よりの封金700円、お預かりに付) 第六十三ノ榎左衛門→熊太郎様	正月2日	横切継紙・1通	993-193-1
(封筒) 下高井郡穂高村山崎平右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿 194-1は封筒入り。	18年2月28日	封筒・1通	993-194
(書状、新年の挨拶と山崎芳三郎の子供奉公願に付) 山崎平右衛門→山田理兵衛様	228日	横切紙・1通	993-194-1
(封筒) 山田理兵衛→江部村山田熊太郎 195-1は封筒入り。	6月30日	封筒・1通	993-195
(書状、飯山町本多氏への貸金2000円に付) 山田理兵衛→山田熊太郎	6月30日	横切紙・1通	993-195-1

書状入袋

(書状、小子出家の際のお礼などに付) 山田吉太郎→御本宅様	7月5日	横切紙・1通	993-196
(書状、中野町徳武多助より貯蓄講受取切手3本買入に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月9日	横切紙・1通	993-197
(封筒) 牟礼村小川昌夫→山田御本宅様 198-1は封筒入り。	7月10日	封筒・1通	993-198
(書状、洪水の損害お見舞いに付) 小川昌夫→山田御本宅様人々御中	7月10日	横切紙・1通	993-198-1
(書状、庫裏勝手普請のため、手間・材木代25円無心に付) 大徳寺→山田庄左衛門様	8月30日	横切紙・1通	993-199
(封筒) 新野村中山寛之助→江部村山田熊太郎様 200-1は封筒入り。		封筒・1通	993-200
(書状、ご秘蔵の品、一時借用の願に付) 中山寛之助→山田熊太郎賢兄	3月18日	横切紙・1通	993-200-1
(封筒) 小布施市邨善輔→[江部山]田熊太郎様 993-201-1は封筒入り。	3月	封筒・1通	993-201
(書状、証印宜敷の義に付) 市邨善輔→山田実兄君	3月7日	横切紙・1通	993-201-1
(封筒) 古田村山田伝助→江部村山田御別荘御隠居様 993-202-1は封筒入り。	1月16日	封筒・1通	993-202
(書状、時候の挨拶) 古田村山田伝助→御別荘御隠居様	1月16日	横切紙・1通	993-202-1
(封筒) 長野県下信濃国長野西之門町第十九国立銀行支店→山田庄右衛門様 993-203-1は封筒入り。	8月29日	封筒・1通	993-203
(書状、貯金御返し二付) 十九銀行支店→山田庄右衛門様		横切紙・1通	993-203-1
(封筒) 第六十三国立銀行中野支店→江部村山田様 993-204-1は封筒入り。	4月22日	封筒・1通	993-204
(書状、公債貨の義に付) 第六十三国立銀行中野支店(印)→山田様玉机下	4月26日	横切紙・1通	993-204-1
換言(当村政吉寺の地券証書換の由申すに付) 大徳寺→東江部山田庄左衛門貴下	4月1日	横切紙・1通	993-205
(封筒) 科野村湯本宜成→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-206-1は封筒入り。封筒に「至急用」とあり、式銭切手つき。	明治18年3月18日	封筒・1通	993-206
(書状、証書の一件返答に付) 湯本宜成→山田熊太郎様	3月18日	横切紙・1通	993-206-1
(書状、代償二円五十七銭働きに付) 山城屋伸之助→山田理兵衛様		横切紙・1通	993-207
(書状、静岡村田中市四郎へ御貸付証券の儀などに付) 堀内九兵衛→山田熊太郎様	明治19年1月7日	横切紙・1通	993-208
(封筒) 坂本亀之助→山田庄左衛門様窺ヒ 993-209-1は封筒入り		封筒・1通	993-209
(書状、先般御葬送の儀に付) さかもと→山田様	1月16日	横切紙・1通	993-209-1
(封筒) 松代第六十三国立銀行→下高井郡江部村山田熊太郎様 993-210-1封筒入り	1月18日	封筒・1通	993-210
(書状、当銀行取締役投票の儀開札のところ貴君御当確に付) 松代第六十三国立銀行→山田熊太郎様	1月18日	横切紙・1通	993-210-1
(封筒) 従松代第六十三国立銀行(印)→下高井郡江部村山田熊太郎様大至急用 993-211-1~3封筒一括	1月12日	封筒・1通	993-211

(書状、考課状正副二冊の儀御調印のことなどに付) 松代本店(印、「第六十三国立銀行」)→山田熊太郎様	1月12日	横切継紙・1通	993-211-1
(書添、考課状正副二冊の趣に付)	1月12日	横切紙・1通	993-211-2
(書状、荘左衛門様御病氣療養の儀に付) 第六十三銀行 一同(印)→山田熊太郎様	1月11日	横切紙・1通	993-211-3
(封筒) 湯本五郎治宅ニテ山田松三郎→江部山田新荘左衛門 様 993-212-1は封筒入		封筒・1通	993-212
(書状、降雪のため湯本宅滞在延長の旨報告に付) 弟 松三郎→兄君閣下	明治19年1月3日	横切継紙・1通	993-212-1
(封筒) おもたかやニテ山田理兵衛→江部山田荘左衛門様要 用 993-213-1は封筒入	明治19年1月2日	封筒・1通	993-213
(書状、東京控訴一件に付) 山田理兵衛→山田荘左衛門 様	1月2日	横切紙・1通	993-213-1
(封筒) 山田吉太郎拜→御本宅様閣下 993-214-1は封筒入	明治18年12月25日	封筒・1通	993-214
(書状、御老父様御死去に付お悔やみのこと) 山田吉 太郎拜→御本宅様貴下	12月25日	横切野紙・1通	993-214-1
(封筒) 松代第六十三国立銀行(印)→下高井郡江部村山田熊 太郎様 993-215-1は封筒入		封筒・1通	993-215
(書状、来る17日定式総会に付御出頭のこと) 松代第 六十三国立銀行(印)→山田熊太郎様	1月11日	横切継紙・1通	993-215-1
(封筒) まん→かめや御姉君 993-216-1は封筒入		封筒・1通	993-216
(書状、御本宅御病人様子の儀御案じに付) まん→御姉 君		横切継紙・1通	993-216-1
(封筒) 細野善作、谷本助之丞→山田熊太郎殿、山田文六殿 993-217-1は封筒入		封筒・1通	993-217
(書状、本郡長都合により依願退職のため決別として 宴会開催に付通知のこと) 細野善作(印)、谷本助之丞 (印)→江部村山田熊太郎殿、山田文六殿	(明治)18年3月12日	横切継紙・1通	993-217-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→江部村山田熊太郎様足下 993-218-1は封筒入	1月7日	封筒・1通	993-218
(書状、松三郎様御帰宅の途御立ち寄りのことなどに 付) 北澤久右衛門→山田熊太郎様御家族中様	(明治)19年1月7日	切継紙・1通	993-218-1
(封筒) 高崎営所山田吉太郎拜→江部村山田熊太郎様閣下 993-219-1は封筒入	(明治)19年1月2日	封筒・1通	993-219
(書状、新歳の賀慶に付) 高崎営所山田吉太郎拜→江部村 山田熊太郎様貴下	明治19年1月2日	横切紙・1通	993-219-1
(封筒) 長野栄町北澤久右衛門→東江部村山田熊太郎様足下 993-220-1は封筒入		封筒・1通	993-220
(書状、御家政様未だ病臥に付) 北澤久右衛門→山田熊 太郎様尊下	1月18日	切紙・1通	993-220-1
(封筒) 中野弥田誠一→江部村山田熊太郎様至急 993-221- 1は封筒入		封筒・1通	993-221
(書状、御内君御病症診断に付) 弥田誠一→山田様	1月21日	横切継紙・1通	993-221-1
(封筒) 大徳寺→江部山田庄左衛門様要用 993-222-1は封筒 入	1月21日	封筒・1通	993-222

書状入袋

(書状、卜籤天水訟の封に付) 相馬拜→山田熊太郎様		罫紙・1通	993-222-1
(書状、桜井勘右衛門金250円御送付の件など小作取立に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	11月29日	横切継紙・1通	993-223
(封筒) 坂本亀之助→山田熊太郎様御中 993-224-1～2は封筒一括	2月5日	封筒・1通	993-224
(書状、今般御法会執行に付) 坂本亀之助→山田熊太郎様御中	2月5日	横切継紙・1通	993-224-1
(副啓、御家政様御容体伺いに付) 坂本亀→家満田様御中	1月26日	横切継紙・1通	993-224-2
(書状、御病人様子伺いに付) 奥→山田理右衛門様		横切継紙・1通	993-225
(封筒) 渡辺→山田御本宅御奥方へ要用 993-226-1は封筒入	1月8日	封筒・1通	993-226
(書状、年賀の挨拶に付) 渡辺→御奥方へ		横切紙・1通	993-226-1
(封筒) 戸隠山武井麿→高井郡江部村山田庄左衛門様 993-227-1は封筒入	1月吉日	封筒・1通	993-227
(書状、神前御祈禱修行仕り御守礼并御籤文呈上に付) 武井麿拜→山田庄左衛門様	2月6日	青罫紙・1通	993-227-1
(封筒) 町田儀平→山田庄左衛門様御侍史御中 993-228-1は封筒入	6日	封筒・1通	993-228
(書状、年賦金の一條に付) 町田儀平→山田御老君乞貴下	2月9日	横切紙・1通	993-228-1
(封筒) 小布施市村善輔→江部山田熊太郎様格下 993-229-1は封筒入	2月9日	封筒・1通	993-229
(書状、渡辺事件金禄公償証に付) 市村善輔→山田尊兄閣下	5月12日	朱罫紙・1通	993-229-1
(封筒) 松崎→山田老台惣拜 993-230-1は封筒入	明治18年2月10日	封筒・1通	993-230
(書状、金員融通に付御厚謝のこと)		横切継紙・1通	993-230-1
(封筒) 下水内郡上金井村西田喜一郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様 231-1は封筒入り。	18年2月10日	封筒・1通	993-231
(書状、借金返済の期日、猶予願に付) 下水内郡上金井村西田喜一郎→下高井郡江部村山田庄左衛門様	4月22日	横切紙・1通	993-231-1
(封筒) 飯山出張先山田理兵衛→江部御本宅山田熊太郎様 232-1は封筒入り。	4月22日	封筒・1通	993-232
(書状、静間村山崎長右衛門一件と証書封印の証書受取の件、報告に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様		横切継紙・1通	993-232-1
(封筒) 長野より山田理兵衛→江部村山田熊太郎様 233-1は封筒入り。		封筒・1通	993-233
(書状、曾我一件に付、免訴の言渡の件、報告のこと) 山田理兵衛→山田熊太郎様	明治18年4月24日	横切紙・1通	993-233-1
(封筒) 安源寺村外八ヶ村戸長役場→江部村山田庄左衛門殿 234-1は封筒入り。	明治18年4月24日	封筒・1通	993-234
(書状、本縣会計課公債掛へ検印提出の旨、連絡に付) 安源寺村外八ヶ村戸長役場(印、「長野縣下高井郡安源寺村外八ヶ村戸長役場印」)→江部村山田庄左衛門殿 本縣会計課公債掛の奥書・奥印あり。		朱罫紙・1綴(2枚)	993-234-1
(封筒) 川内明照→山田熊太郎殿 235-1は封筒入り。		封筒・1通	993-235

(書状、駒澤貞永の負債返済方法に付) 川内明照→山田熊太郎殿	18年11月21日	横切継紙・1通	993-235-1
(封筒) 高崎太兵衛にて山田吉太郎様→清水宅様 236-1は封筒入り。	18年12月16日	封筒・1通	993-236
(書状、叔母様安産に付、お見舞いのこと)		横切野紙・1通	993-236-1
(書状、山田・小川の両家縁談に付) 昌夫→御伯父上様	6月25日	横切継紙・1通	993-237
(封筒) 小布セ市邸善輔→江部山田熊太郎様 238-1は封筒入り。	5月6日	封筒・1通	993-238
(書状、伊之松氏慰勞の寸志不受理のため、山田賢兄へ伊之松氏の説諭依頼に付) 市邸善輔→山田賢兄君	5月6日	横切継紙・1通	993-238-1
(書状、田税支払いのため、28円無心のこと) 大徳寺→山田庄左衛門様	3月22日	横切紙・1通	993-239
口上(敷もの不足のため、毛氈あるいは緋羅紗の拝借願) 小布セより麴池省三→東江部村山田御本宅様	4月26日	横切継紙・1通	993-240
(封筒) 長野縣為替方→江部村山田庄左衛門様 241-1は封筒入り。	5月12日	封筒・1通	933-241
(書状、金受取のため、金札5円差し遣わしに付) 長野縣為替方→山田庄左衛門君	5月12日	横切継紙・1通	933-241-1
(封筒) 長野□岩石町中村玄左衛門→下高井郡江部村山田庄左衛門殿 242-1は封筒入り。	1月19日	封筒・1通	933-242
(書状、農談会開設に付) 玄左衛門→山田様	1月19日	横切継紙・1通	933-242-1
(書状、地価修正のところ、地券証不足に付、その旨堀内政吉へ通知願) 片塩村地主惣代→江部村山田理兵衛様「安源寺村外八ヶ村戸長役場」の野紙を使用。		朱色野紙・1通	933-243
(封筒) 東京浅草栄久町三拾五番地麴池省三(印、「浅草栄久町三十五番地麴池省三」)→長野縣下高井郡江部村山田熊太郎様 244-1は封筒入り。	4月18日	封筒・1通	933-244
(書状、神奈川様よりの公債証書紛失により、検査官探索のため、出張などに付) 麴池省三→山田熊太郎様	4月18日	横切継紙・1通	933-244-1
(封筒) 柏原村中村六左衛門→江部村山田庄左衛門様 245-1は封筒入り。		封筒・1通	933-245
(書状、金500円返納と残金返済猶予願に付) 中村六左衛門→山田庄左衛門様	18年3月5日	横切紙・1通	933-245-1
(封筒) 奥→江部村山田庄左衛門様 246-1は封筒入り。	5月8日	封筒・1通	933-246
(書状、長野行きなど延日に付) 奥→やまたおとう様	5月8日	横切継紙・1通	933-246-1
(封筒) 片塩村堀内栄三郎・大澤喜三郎→江部村東組山田殿 247-1は封筒入り。	3月10日	封筒・1通	933-247
(書状、金策滞りのため、借金返済猶予願に付) 片塩村堀内栄三郎・大澤喜三郎→山田殿	3月10日	切紙・1通	933-247-1
(封筒) 神奈川岩寄宿綿貫孝造→信州下高井郡江部村山田熊太郎様 248-1は封筒入り。	12月30日	封筒・1通	933-248
(書状、横濱を10日頃出港予定の旨、報告に付) 綿貫孝造→山田熊太郎様・同理兵衛様・同松三郎様	12月30日	横切継紙・1通	933-248-1
(封筒) 浅草富士横町岩井方奥→信濃国下高井郡江部村山田庄左衛門様 249-1は封筒入り。	7月31日	封筒・1通	933-249

書状入袋

(書状、小沼平八荷物3包持参に付)		横切紙・1通	933-249-1
(封筒) 湯田中湯本五郎治→江部村山田隈太郎様 250-1は封筒入り。	6月26日	封筒・1通	933-250
(書状、不景気のため、利分の差し出し日延に付) 湯本五郎治→山田隈太郎様	6月26日	横切継紙・1通	933-250-1
(封筒) 中野篠田佐賢→江部村山田熊太郎様 251-1は封筒入り。		封筒・1通	933-251
(書状、六三銀行への返済金不足のため、100円拝借願に付) 篠田佐賢→山田熊太郎様	5月26日	横切紙・1通	933-251-1
(封筒) 間山小林九之丞→江部山田莊左衛門様 252-1は封筒入り。		封筒・1通	933-252
(書状、柏原中郎への年礼祝儀の件などに付) 小林九之丞→山田莊左衛門様	5月17日	横切継紙・1通	933-252-1
(封筒) 小川弥右衛門→下高井郡江部村山田熊太郎様 253-1は封筒入り。	正月13日	封筒・1通	933-253
(書状、愚妹の仕事などに付、小生不在の間、留守頼み入りのこと) 小川弥右衛門→山田熊太郎様	正月13日	横切紙・1通	933-253-1
(書状、地券書替願書への調印願に付) 山田理兵衛→山田熊太郎様	7月23日	横切継紙・1通	933-254

渡 辺 家

年 代 成立年代 宝永4 (1707) ~明治初年

数 量 1,338点

歴 史

中野村(町)西町の渡辺家、屋号が米屋の史料である。渡辺家は、享保9(1724)年「中野村名主彦之丞」(A127-1)、同11年「中野西町渡辺彦之丞」(A211-5)として記載され、享保12(1727)年の箕作村入用にある郡中割取扱を担った「中野村名主彦之丞」(『中野市誌・歴史編(前編)』1981年)とは同一人物と判断できる。居所は陣屋の西側にあたる西町にあった。当主は享保・元文期が彦之丞、宝暦・明和期に十郎(重郎)次、天明期以降、林右衛門、寛政10年頃に八十五郎、文化文政期権之丞・彦之丞、天保期には林輔である。屋号を「米屋」「よねや」と称していた。

中野村の名主役として享保9(1724)年から嘉永2(1849)年まで勤めていたことが確認できる。

郡中代としての初出は、寛政6(1794)年「中野村郡中代林右衛門・同村郷宿林兵衛・同断弥左衛門」であり、その後も寛政7(1795)年「中野村名主伝右衛門・郡中代林右衛門・郷宿弥左衛門」、寛政9(1797)年「中野村名主彦兵衛・郡中代林右衛門・郷宿孫助」とある。天保8(1837)年「郡中代林輔」までは当館史料によっておうことができる。

構造と内容

この渡辺家の文書は、昭和32年の史料館受け入れ時に山田家文書として番号を大まかに付し、その中から渡辺家文書を抜き出して整理をはじめている。史料館旧封筒での整理が進められ、全体解題の説明のごとく、Aとして渡辺家分を抜き出し、小段ボール箱の史料館旧封筒にもBとしてまとめられていた。今回全史料を点検すると、山田家として整理したものの中にも渡辺家は混在していた。よって、山田家文書にどのような経緯で含まれたのか、目録(その2)の「郷村会所・富田屋」と同様明確にできなかった。現地分の目録は現在刊行中であり、渡辺家の混在の確認も含め、今後の課題としたい。

本サブフォンド(大項目)は、渡辺家が中野村(町)の名主として在職した享保9(1724)年から嘉永2(1849)年に、中野村(町)の名主として作成または授受した文書を主体とし、中野陣屋の郡中代として在職した寛政7(1795)年から天保8(1837)年の文書と渡辺家という家組織の経営に関わって蓄積された文書から構成した。各シリーズ内の配列は、年次順としたが、数通から数十通の束の場合には年順となっていない。検索の不便を伴うが、無年号の推定の助けとしての原形順序のままであることを理解頂きたい。

「郡中代」は、名主としての職務機能との判別が難しいところであるが、郡中代を勤めていた時期の内容を配列した。郡中代としての年貢収納と江戸役所への書類差立て、陣屋内のおよび牢舎の維持管理、郡中入用の取り立てなど、争論訴訟関係の史料である。

「中野村名主」は、名主職務に関する文書をまとめた。「送り状」の量が多く、一括されていたため、分けて配列した。『中野市誌』には、安永6(1777)年、中野村重郎治・伝右衛門・彦市・清左衛門・市右衛門5人より、郡中代を選んで順番に勤め、名主役との兼任はしなかったとある(前編、538頁)。

「家・米屋」の経営活動に関する借家経営や小作地経営、および金融などに関する文書である。公用私用両方の事を記した書状もあるが、渡辺家の私信と見なされるものは少ない。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
渡辺家			
郡中代			
差出申一札之事(庄屋跡役の儀に付、熟談のこと) 上条村名主浅左衛門(印)、組頭茂八(印)、同文左衛門(印)、百姓代甚左衛門(印)、百姓惣代文右衛門(印)、同甚之助(印)、同九兵衛(印)、同彦五郎(印)、同佐野右衛門(印)、百姓代利兵衛(印)→中野町郡中代衆中、郷宿衆中 奥書あり	安永6年酉11月	縦継紙・1通	B-47
一札之事(庄屋跡役の儀に付、熟談のこと) 上条村百姓与兵衛→中野町郡中代衆中、郷宿衆中 付札あり、48-1~2折疊一括	安永6年酉11月	縦継紙・1通	B-48-1
(跡役に付熟談のこと) 中野町郡中代十郎次、伝右衛門、彦市、清左衛門、市右衛門→上条村名主、組頭、百姓代衆中		堅切紙・1通	B-48-2
乍恐以書付奉願上候(中野騒動後の臨時牢屋設置入用立替につき返金願) 郡中代五人→御役所 写	安永7年戌6月	縦継紙・1通	A-32
書付を以御答申上候(入牢人番役の儀に付、柳尾村他16ヶ村名主頼書糺しの上、回答のこと) 中野村牢守穢多孫右衛門(印)、同同三九郎(印)→中野村御役人中様 20-1~8は旧封筒一括、中野村名主伝右衛門、組頭彦兵衛、同林右衛門、百姓代市右衛門の奥書あり	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-20-1
乍恐以書付奉願上候(郡中廻村の穢多近来我俣仕り、報告等閑の儀に付、牢守孫右衛門よりの願) 高井郡中野村名主林右衛門、組頭彦兵衛、百姓代嘉右衛門、同久兵衛→上野四郎三郎様御役所	酉11月	縦継紙・1通	B-20-2
乍恐以書付奉願上候(牢番勤方役割不同の儀に付、割合郡中一統平均のこと願)	天明8年申4月	縦継紙・1通	B-20-3
差出申一札之事(牢番番割甲乙ある儀に付、仲間打ち寄せ廻り場割合相究のこと) 中野村牢守孫右衛門、同断三九郎→中野郡中代御会所、□(後欠) 後欠	天明8年申3月	縦継紙・1通	B-20-4
乍恐以書付奉願上候(御支配替えのため牢番仲間相減り困窮難儀の儀に付、越後国仲間牢番割合同様のこと) 中野村牢守穢多惣代孫右衛門(印)、同断三九郎(印)、夜間瀬村穢多孫六(印)、柳沢村穢多又助(印)→中野村御役人中様	寛政2年戌7月	縦継紙・1通	B-20-5
乍恐以書付奉願上候(越後国支配村々牢番欠勤に付、番人賃銭差出のこと願) 郡中代林右衛門、彦兵衛、市右衛門→風祭求馬様御役所	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-20-6
乍恐以書付奉願上候(入牢人番役の儀に付、越後国御支配村々へも番役差し出しのこと願) 高井郡中野村郡中代林右衛門、同彦兵衛、同市右衛門→風祭求馬様御役所	寛政2年戌8月	縦継紙・1通	B-20-7
(牢番勤め方に付書付) 中野村牢守孫右衛門→御役所 林右衛門奥書あり	申7月	堅切紙・1通	B-20-8
盗賊六人御差出ニ付目籠六挺仕立入用帳 高井郡中野村郡中代市右衛門→久保平三郎様中野御役所	天明8年申4月	豎長・1冊	C-399
乍恐書付を以奉願上候(増米御免の上定免十ヶ年季願) 定免年季明村々名主→御役所	寛政2年戌2月	縦継紙・1通	A-160-1

(定免更新の願、下書)		縦紙・1通	A-160-2
乍恐書付を以奉願上候(正月納上納金延期願) →上野四郎三郎様御役所	享和2戌年12月	縦継紙・1通	A-194-1
乍恐書付を以奉願上候(正月納年貢金延納願、後欠) 高井郡長瀬村名主喜右衛門、ほか7名→	寛政2戌3月	縦継紙・1通	A-194-2
乍恐以書付奉願上候(正月皆済延期願) 信州高井郡安田村名主又左衛門、ほか75ヶ村78名→河尻甚五郎様御役所	寛政5丑年11月	縦継紙・1通	A-194-3
乍恐書付を以奉願上候(正月皆済延期願、控) 高井水内両郡村々連印→古橋隼人様中野御役所	文化4卯年10月	縦継紙・1通	A-194-4
乍恐以書付奉願上候(11月納金半減、残金皆済延期願、控) 高井水内両郡村々組合限り名主印→井上十左衛門様中野御役所	天保4巳年10月	縦継紙・1通	A-194-5
乍恐以書付奉願上候(11月納金半減、残金皆済延期願、控) 高井水内両郡村々組合限り名主印→井上十左衛門様中野御役所 惣代4名・郡中代の継添請書とも	天保4巳年10月	縦継紙・1通	A-194-6
(不熟につき安石代ほか御慈悲願、前欠) 郡中村々名主惣連印→大原左近様御役所	天保7申10月	縦紙・1通	A-194-7
乍恐以書付奉願上候(二納金延納願、下書)	天保期、同4年以降)	縦継紙・1通	A-194-8
差出申内済証文之事(庚新田村御林下菊出入に付、和談内済のこと) 庚新田村願人名主伝右衛門(印)、組頭重左衛門(印)、百姓代六兵衛(印)、百姓惣代新五右衛門(印)、相手百姓九郎右衛門(印)、同人五人組惣代音右衛門(印)→扱入郡中代林右衛門殿、同郷宿銀八殿、同同要左衛門殿 61-1~2は旧封筒一括	寛政2年戌3月	切継紙・1通	B-61-1
(御林絵図) 高井郡庚新田村願人名主伝右衛門(印)、同断組頭重左衛門(印)、同断百姓代六兵衛(印)、同断百姓惣代新五右衛門(印)、相手百姓九郎右衛門(印)、同人五人組惣代音右衛門(印)→林右衛門殿、銀八殿、要左衛門殿	寛政2年戌3月	切継紙・1通	B-61-2
一札之事(結東村百姓高井郡内にて雑物盗取召捕に付、入牢中飯料代・賄い方の儀宜しく取計願) 越後国魚沼郡結東村百姓久四郎(印)、右五人組惣代与惣次郎(印)、右村庄屋代又四郎(印)→中野村郡中代林右衛門殿	寛政2年戌6月13日	堅切紙・1通	B-11
乍恐以書付奉願上候(米穀下直につき三分二休石之分御免、本石之通造酒願) 越後国魚沼郡伊達村造酒人伊兵衛印、馬場村造酒人次郎左衛門印、川沼村造酒人清次郎印、大井平村造酒人又兵衛印→風祭求馬様中野御役所 写	寛政2年10月	縦紙・1通	B-224
乍恐以書付奉願上候(牢番勤め方の儀に付、熟談の上取極のこと) 高井郡柏尾村名主大助(印)、関沢村名主伸右衛門(印)、犬飼村名主三左衛門、中村名主十左衛門(印)、斗見村名主惣右衛門(印)、上木嶋之内大町名主庄左衛門(印)、安田村名主又左衛門(印)、荒井村名主養八(印)、柳沢村名主七右衛門(印)、赤岩村名主八兵衛(印)、越村名主定右衛門(印)、竹原村名主幸七(印)、金井村名主市左衛門(印)、若宮村名主富右衛門(印)、夜間瀬村名主惣兵衛(印)→中野村名主伝右衛門殿、郡中代林右衛門殿、同彦兵衛殿	寛政3年亥2月	縦継紙・1通	B-23
乍恐以書付奉願上候(出入一件雑用割合に付、出金滞り甚だ差し支えのこと) 魚沼郡宮野原村願人庄屋近右衛門(印)、同村百姓代太惣右衛門(印)→風祭求馬様中野御役所	寛政3年亥10月	切継紙・1通	B-63
差上申出入済口証文之事(高井郡山口新田村庄左衛門女房しめ宅狼藉出入に付、内済のこと) 高井郡山田新田村訴訟人しめ(印)、相手十五人引受佐吉(印)、同仙次	寛政4年子5月	切継紙・1通	B-64

<p>郎(印)、同道右衛門(印)、山口新田村名主三左衛門(印)、組頭平左衛門(印)、百姓代久左衛門(印)、右一件懸り合右同村市左衛門(印)→中野郡中代扱人林右衛門(印)、和栗村名主同断四郎左衛門(印)、稻荷村名主同断伊兵衛(印)、郷宿扱人銀八(印)、同断弥右衛門(印)、同断要左衛門殿 風祭求馬役所へ差出の済口証文の写あり</p>			
<p>覚(宿泊時年貢金預証文、雛形) 何之誰領分何国何郡何宿問屋たれ、年寄たれ、同たれ→河尻甚五郎様御支配所御金御宰領中 端裏書「御年貢預証文案」</p>	<p>寛政4子年10月</p>	<p>縦継紙・1通</p>	<p>A-185-1</p>
<p>奉願一札之事(宿泊時年貢金預証文の雛形) 誰御代官所・御預り所・何之誰領分、何国何郡何宿問屋何、同断年寄誰、同断御宿何→御代官井上十左衛門様御金御宰領中</p>	<p>年号月日</p>	<p>縦継紙・1通</p>	<p>A-185-2</p>
<p>(代官河尻の手代など名前書)</p>	<p>寛政4年以降)</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>A-215</p>
<p>差上申内済証文之事(伐木出入に付、内済のこと) 高井郡越村百姓治郎吉母訴訟人まつ(印)、同村本家付添人忠左衛門(印)、同郡同村百姓代相手又五郎(印)、同村百姓同要七(印)、同断同文八(印)、同村名主仙助(印)→中野郡中代林右衛門殿、同郷宿弥右衛門殿、同伊由右衛門殿</p>	<p>寛政5年丑4月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-65</p>
<p>差上申済口証文之事(高井郡赤岩村越村山境松立木伐取出入に付、内済のこと) 赤岩村願人八兵衛(印)、同村名主十兵衛(印)、同村組頭金次郎(印)、同断善八(印)、同断権九郎(印)、同断郡次郎(印)百姓代平八(印)、越村百姓代相手又五郎(印)、百姓同次郎吉(印)、同断平藏(印)、同断与七(印)、同断文八(印)、右村名主平助(印)、組頭富右衛門(印)、百姓惣代彦市(印)→林右衛門殿、彦兵衛殿、銀八殿、弥右衛門殿 河尻甚五郎役所宛済口証文の写あり</p>	<p>寛政5年丑5月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-66</p>
<p>奉差上内済証文之事(高井郡竹原村下男真木にて打擲狼藉に付、和融内済のこと) 竹原村紺右衛門(印)、同入下男儀八(爪印カ)、中野村枝栗和田義八親庄左衛門(印)、竹原村久左衛門下男作右衛門(印)、同村久左衛門(印)、同村名主幸七(印)→中野村郡中代林右衛門殿、竹原村治助殿、中野村郷宿銀八殿、同断要左衛門殿 河尻甚五郎中野役所宛済口証文の写あり</p>	<p>寛政5年丑10月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-67</p>
<p>乍恐以書付奉願上候(古今稀なる凶年ゆえ年貢金延納願) 写</p>	<p>寛政5年丑11月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>A-153</p>
<p>借用申証文之事(郡中割金不足につき、永350文余) 越後国魚沼郡□?生組中子庄屋運八、木津組庄屋久八、中野立会人郷宿伊野右衛門→信州中野郡中代林右衛門殿 全面抹消あり</p>	<p>寛政5丑12月</p>	<p>1通</p>	<p>A-9</p>
<p>借用申金子之事(出入一件諸入用不足につき金2分) 魚沼郡倉俣村借用人伊右衛門(印)、中野村郷宿請人弥右衛門→中野郡中代林右衛門殿 墨消</p>	<p>寛政6寅5月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>D-810</p>
<p>乍恐以書付奉願上候(打擲出入一件中野村役人并郷宿取扱内済仕り済口証文差出の節、相手方名前相違に付御高免願) 魚沼郡倉俣村伊右衛門(印消し)→河尻甚五郎様御役所宛 名主文左衛門の奥書あり</p>	<p>寛政6年寅6月</p>	<p>切継紙・1通</p>	<p>B-69</p>
<p>一札之事(獅子舞・狂言村々興行の吟味につき上様へ取りなしの願) 魚沼郡倉俣村庄屋文左衛門ほか3名、子種新田庄屋佐兵衛ほか3名→中野村郡中代林右衛門殿、宮野村庄屋近右衛門殿</p>	<p>寛政6寅年8月</p>	<p>1通</p>	<p>A-7</p>
<p>乍恐以書付奉願上候(箕作村百姓の博奕吟味御免願) 高井郡東大瀧村名主浅右衛門、志久見村名主清右衛門、七ヶ巻村名主清助、虫生村又右衛門、平林村名主久左衛門、同郡中野村郡中代林右衛門、同断彦兵衛→河尻甚五郎様中野御役所</p>	<p>寛政6年寅8月</p>	<p>縦継紙・1通</p>	<p>A-209</p>